

2021年04月13日(火)【外為Lab】松田哲
タイトル:【不活発な外国為替市場ですが、・・・】

3月末の期末を経て、今年(2021年)のイースター(復活祭)であった4月4日も過ぎましたが、どうも、外国為替市場には、活発さが感じられません。

積極的になれない訳は、コロナ禍による不確実性も、大きな理由のひとつだ、と考えます。

+++++

米国の状況を見れば、バイデン大統領は、その就任から75日以内に、1億5千万回のワクチン接種を実施したことを表明している。

このペースならば、大統領就任100日までに、2億回の接種実施の目標を達成可能となる。

バイデン政権の対応は、素晴らしい、と考えます。

+++++

一方、日本でも、ワクチンの高齢者向け接種が、昨日(4月12日)から開始となった。

ただし、ワクチンの数量を十分に確保できておらず、無理やりに「高齢者向けのワクチン接種を始めました」というパフォーマンスに過ぎない、と感じています。

今回用意されたワクチンの量は、対象者のわずか1%程度に過ぎない。

しかも、日本では、医療従事者に対するワクチンの接種も、はなはだ進んでおらず、このような状況では、高齢者向けのワクチンの接種で、感染が起こっても、不思議ではない、と考えます。

+++++

ワクチン接種は、コロナ禍を回避し、経済を復活させるために、現時点では、最良の手段と考えます。

そうなると、ワクチン接種率が、これからの経済回復のバロメーターになり得る、とすら考えます。

+++++

そして、昨日（4月12日）から、新型コロナウイルスの緊急事態宣言に準じた対策が可能となる「蔓延防止等重点措置」が、東京都、京都府、沖縄県に適用となった。

対象期間は、東京が4月12日から5月11日まで、京都と沖縄が、4月12日から5月5日まで。

「蔓延防止等重点措置」は、すでに、大阪府、兵庫県、宮城県で提要在開始されている。

+++++

このような世相では、気持ちも萎えて、相場に積極的になれないのは、当然のことだろう、と感じます。

+++++

この週末のニュースで、明るいものは、
「松山英樹のマスターズ優勝」

松山英樹氏の偉業達成で、
「日本人は、やればできる（日本人でもできる）」
といった雰囲気が出てくれば嬉しい、と考えます。

+++++

（2021年04月13日東京時間15:25記述）